

放送決定！

2023年大河ドラマ 「どうする家康」

社会保障審議会生活困窮者自立支援
及び生活保護部会（第17回）

令和4年7月29日

資料7

きっと岡崎、もっと家康



「もっともっと岡崎重層事業」

～リノベーション&イノベーション型重層事業の実践～

<参考人>

岡崎市福祉部ふくし相談課
課長 齊藤 哲也

岡崎市の概要

中核市

人口 384,996人 (R4.4.1)

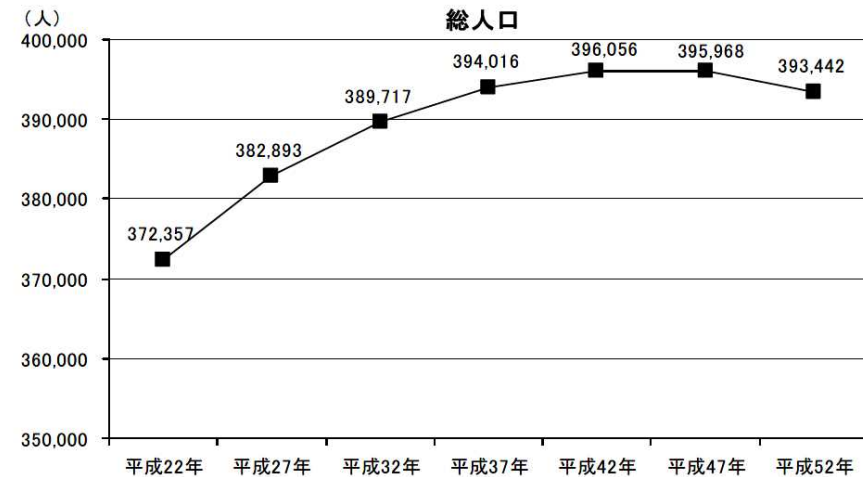
世帯数 166,994世帯

高齢者数 92,435人

高齢化率 24.0%

面積 387.20km²

図表-11 人口推計結果（市全域）



岡崎市の人口推移（2015年を100とした場合）



（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」
※2015年を100とした場合の2045年までの推計値



自治会加入率90%

社会福祉法 106条の4			機能	既存制度の対象事業	業務名	R4年度予算	負担割合
相談支援 (断らない相談)	1	イ	包括的相談支援事業	【介護】 地域包括支援センターの運営	地域包括支援センター支援業務	531,321,000	国38.5県・市 19.25保険料23
				【障がい】 障害者相談支援事業	障がい者地域生活支援業務	16,866,250	国50県25
				【子ども】	利用者支援事業 (基本型)	職員給与費等 9,088,000 会計年度任用職員給与費等 2,515,000	国2/3、県1/6
					利用者支援事業 (母子保健型)	妊産婦・乳幼児保健指導業務 4,988,000 8,305,000	
				【困窮】 自立相談支援事業	生活困窮者自立相談支援業務	31,621,000	国3/4
	5		多機関協働事業	【新】	相談支援機関等支援業務	5,187,000	国3/4
	4		アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	【新】		16,926,000	
参加支援	2		参加支援事業	【新】		9,119,000	
地域づくり	3	イ	地域づくり事業	【介護】 一般介護予防事業 (地域介護予防活動支援事業)	地域介護予防活動支援業務	744,000	国25県・市12.5 保険料50
				【介護】 生活支援体制整備事業	生活支援体制整備業務	71,510,000	国38.5県・市 19.25保険料23
				【障がい】 地域活動支援センター事業	障がい者地域生活支援業務	13,167,000	国50県25
					友愛の家整備運営業務	7,973,000	
				【子ども】 地域子育て支援拠点事業	つどいの広場運営業務	294,000	国、県1/3
					地域子育て支援センター運営業務	2,027,000	
					職員給与費等	42,829,000	
					会計年度任用職員給与費等	19,004,000	
				【困窮】 生活困窮者等のための 地域づくり事業	生活困窮者自立相談支援業務	6,325,000	国1/2
		柱書					

799,809,250

重層事業の所管課 = ふくし相談課

<地域支えあい係>

- ・地域包括ケア関係（**包括的支援事業**、在宅医療・介護連携推進事業、**生活支援体制整備事業**、地域ケア会議推進事業）
- ・成年後見制度

<つながり支援係>

- ・**多機関協働事業**（相談支援包括化推進員）
- ・地域福祉（CSW）
- ・災害時避難行動要支援者支援制度のうち個別避難計画の作成

<くらしの相談係>

- ・生活困窮者自立支援制度全般、住居確保給付金、一時生活支援事業、ホームレス自立支援

<社会福祉協議会>

- ・**基幹型地域包括支援センター**
- ・参加支援事業
- ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ・**生活困窮者等のための地域づくり事業**
- ・家計改善支援事業
- ・若者サポートセンター

ほっとサポートおかざき

<愛恵協会>

- ・**生活困窮者自立相談支援事業**
- ・就労準備支援事業
- ・就職氷河期アウトリーチ

自立相談支援事業所は市内に1カ所。

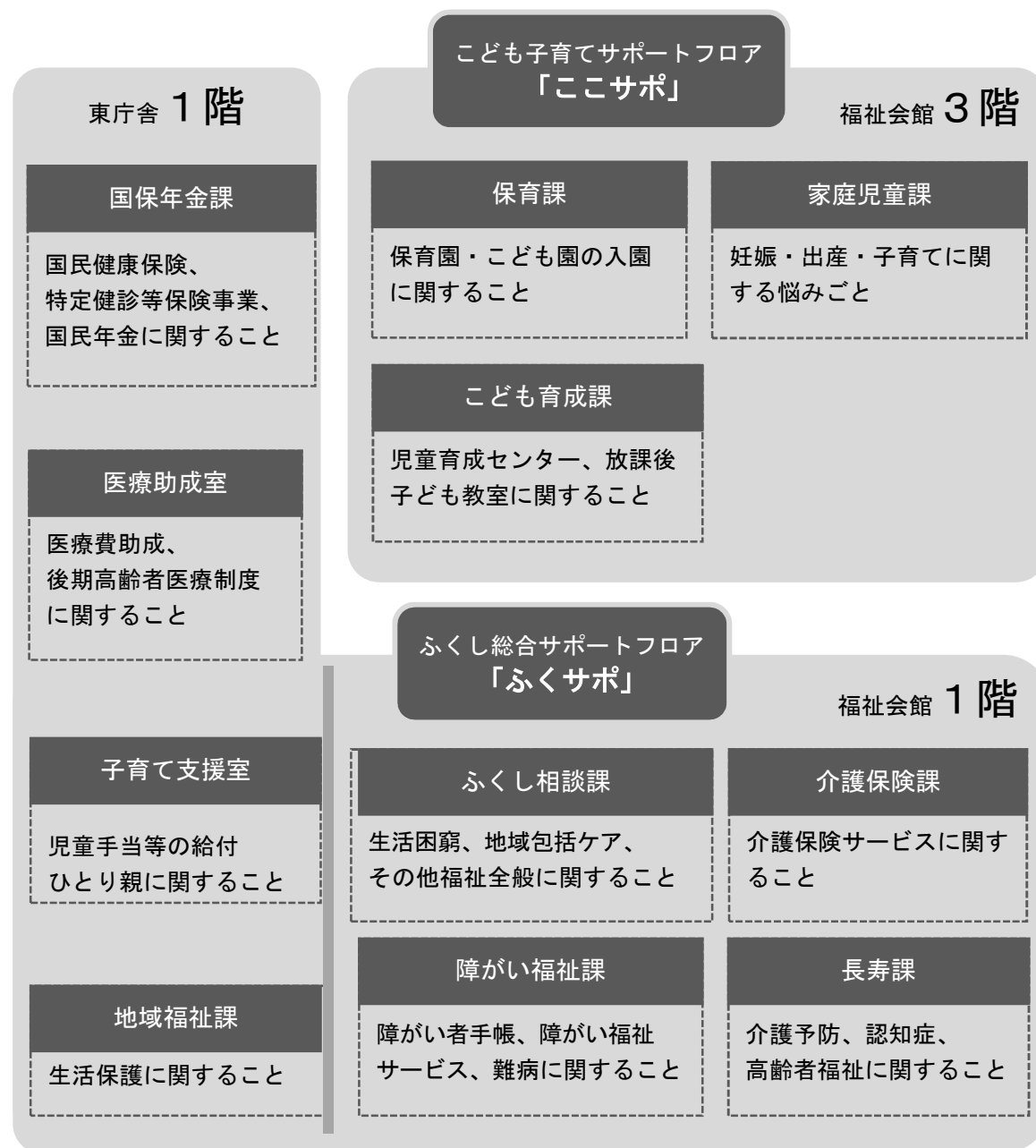
コロナ禍で増大した相談は、生活困窮の要素がないものについては、基幹包括や包括化推進員が対応。

地域づくりについては、参加支援事業などを行う社協や市のCSWと連携して実施。

一体的に実施

一括交付金化の恩恵 3

物理的な連携（=市役所窓口の改修：令和2年度工事）



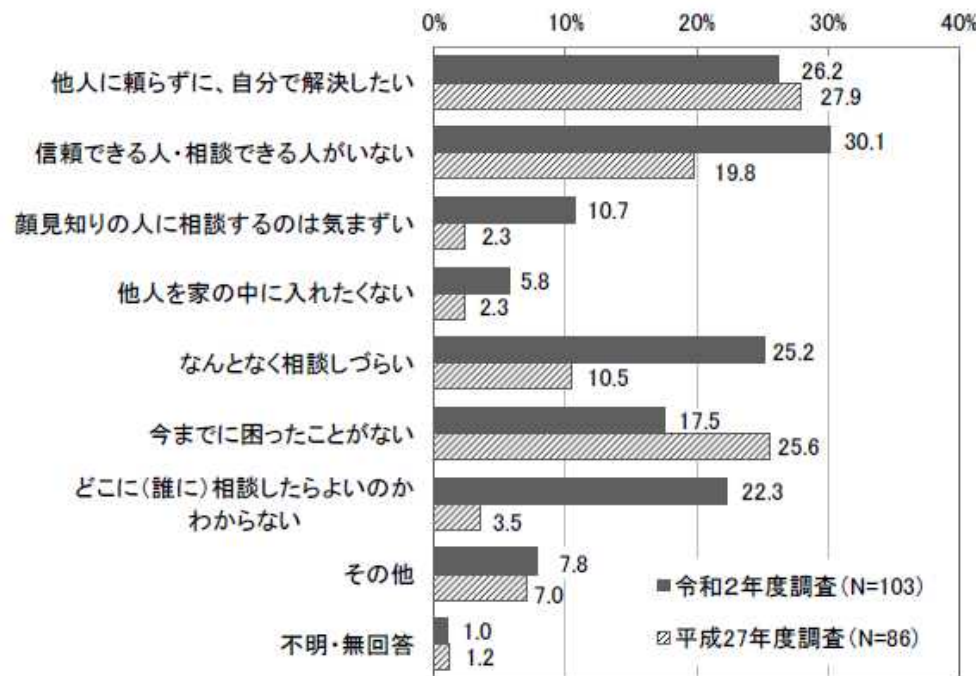
声をあげるところがない？

令和2年度地域福祉に関する市民意識調査より

- ・相談できる人がいない、相談先がわからない
- ・情報を入手する術がない

アクセスしやすい環境整備が必要

Q:なぜ相談しないのか？



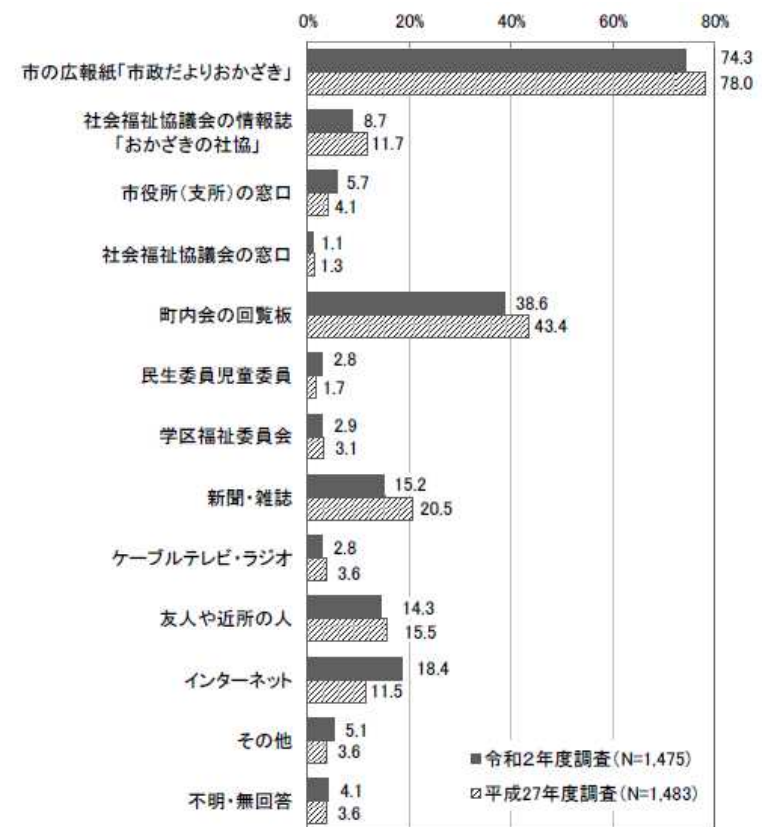
5年前と比較して

相談できる人がいない **1.5倍**

相談しづらい **2.4倍**

相談先がわからない **6.4倍**

Q:福祉サービスの情報をどこから入手するか？



- ・広報紙の情報は限定的
- ・インターネットのみ増

身近なところで気軽に行ける相談窓口

まちサポ&地域福祉拠点構想

- ・ 地域包括支援センター ⇒ 第2層の属性や世代を問わない包括的な相談窓口
「**まちのふくしサポート室（まちサポ）**」へ（20包括のうち7包括）
- ・ 老人福祉センター ⇒ 高齢者施設から「**多世代交流拠点**」へ



発信先を集約する

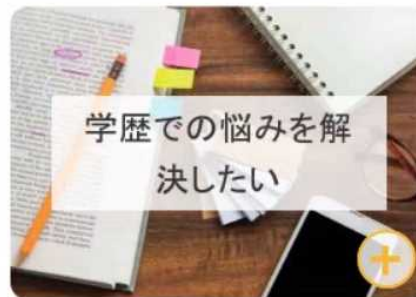
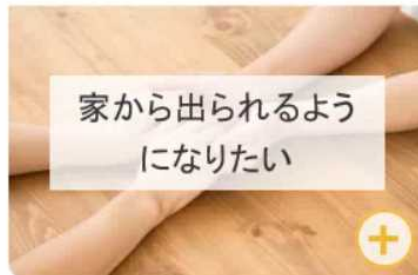
プラットホームの再構築＋ポータルサイト



相談＋就労＋社会参加

行政は情報発信が下手

岡崎市でいきづらさに寄り添うポータルサイト



ひきこもり支援団体
外国人支援団体
自立支援団体
ボランティア団体
若者支援団体
社会福祉協議会
フリースクール
医療機関
行政機関
etc

10月のリスタート
に向けて再構築中

断らない相談を標榜し続ける

広報紙に掲載



市民

最近友人を見ていない

#セルフネグレクト #失業 #精神疾患 #家賃滞納

関係機関に周知



MSW

本人の意思で退院するが、生活が不安

#末期がん #妻認知症 #経済的困窮 #ごみ屋敷 #多頭飼育

教育関係者に周知



高校養護教諭

3年の途中から不登校、卒業はできたがひきこもり状態

#双極性障がい #離婚 #孤立 #コロナ



検察

拘留満期となるが再犯リスクが高い

#窃盗 #ホームレス #MCI #無保険

庁内勉強会



SSW

親と兄弟の世話をしており、学校に通えない

#ヤングケアラー #父難病 #経済的困窮 #外国人



家庭児童課

両親に障がいがあり生活できていない

#知的障がい #医療的ケア児 #多重債務 #医療ネグレクト

民生委員、福祉委員に周知



民生委員

家庭に問題があり、子どもが学校に行けていない

#外国人 #経済的困窮 #双子知的障がい #ひとり親世帯



こども発達相談センター

療育が必要な子に会えなくなった

#育児放棄 #発育不良 #失職 #脳梗塞 #祖母認知症

郵便局がつながり先を案内



— お困りごと相談連絡帳 —



相談先の分からない福祉のご相談

岡崎市役所ふくし相談課（福祉会館1階18番窓口）
連絡先 0564-23-6774

令和4年4月作成
岡崎市

ふくサポ×ポスト

市内全ての郵便局の
窓口（A4版）とATM（A5
版）にちらしを設置

掲載内容

- ★ふくし相談課の連絡先
- ★高齢者・介護に関する相談先
- ★障がい・難病に関する相談先
- ★子どもに関する相談先
- ★仕事に関する相談先
- ★お金・住まいに関する相談先
- ★年金に関する相談先
- ★外国人・性の多様性に関する相談先
- ★医療機関に関する相談先
- ★DV等の相談先
- ★こころの悩みに関する相談先
- ★法律に関する相談先
- ★夜間対応・SNS（Line）相談
- ★広告（ゼロ予算=協賛金により作成）

支援会議・重層的支援会議

支援会議（ふくサポ会議）・・・本人同意なし、ふくし相談課が主催

重層的支援会議・・・・・・・・・・本人同意あり、ふくし相談課が主催

◆ふくサポ定例（月1回）⇒R4は案件が増えてきているため随時開催

メンバー：参加支援事業者、アウトリーチ事業者

基幹型地域包括支援センター

生活困窮者自立相談支援事業者

住宅計画課

ふくし相談課（包括化推進員）

◆ここサポ定例（月1回）

メンバー：警察、児童相談所、教育委員会

家庭児童課、保育課

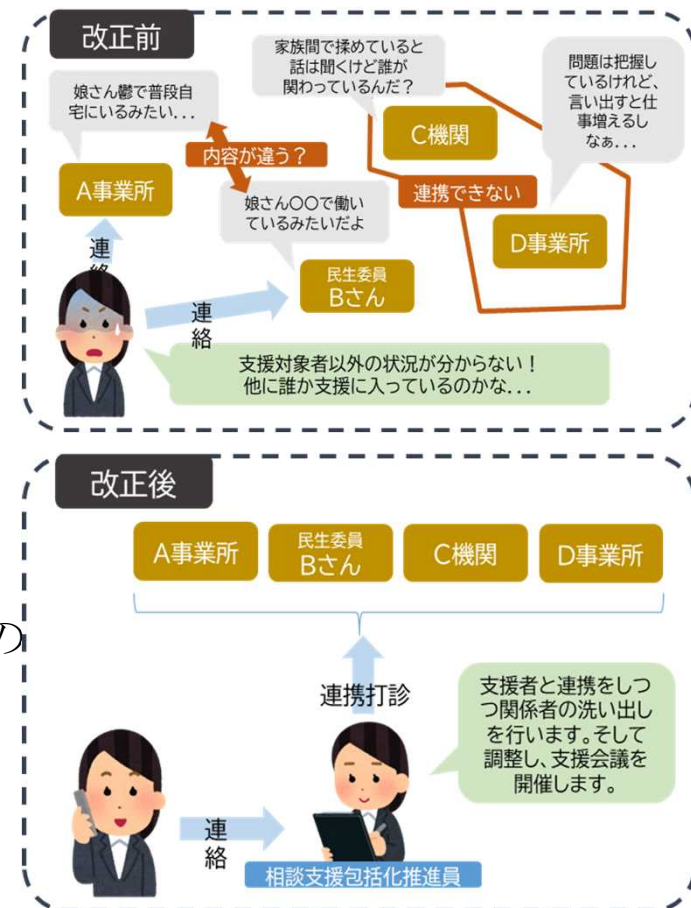
健康増進課

ふくし相談課（包括化推進員）

◆随時

個別のケース会議等と兼ねて実施しているもの
（ケース会議、個別ケア会議、支援調整会議、
コアメンバー会議等）

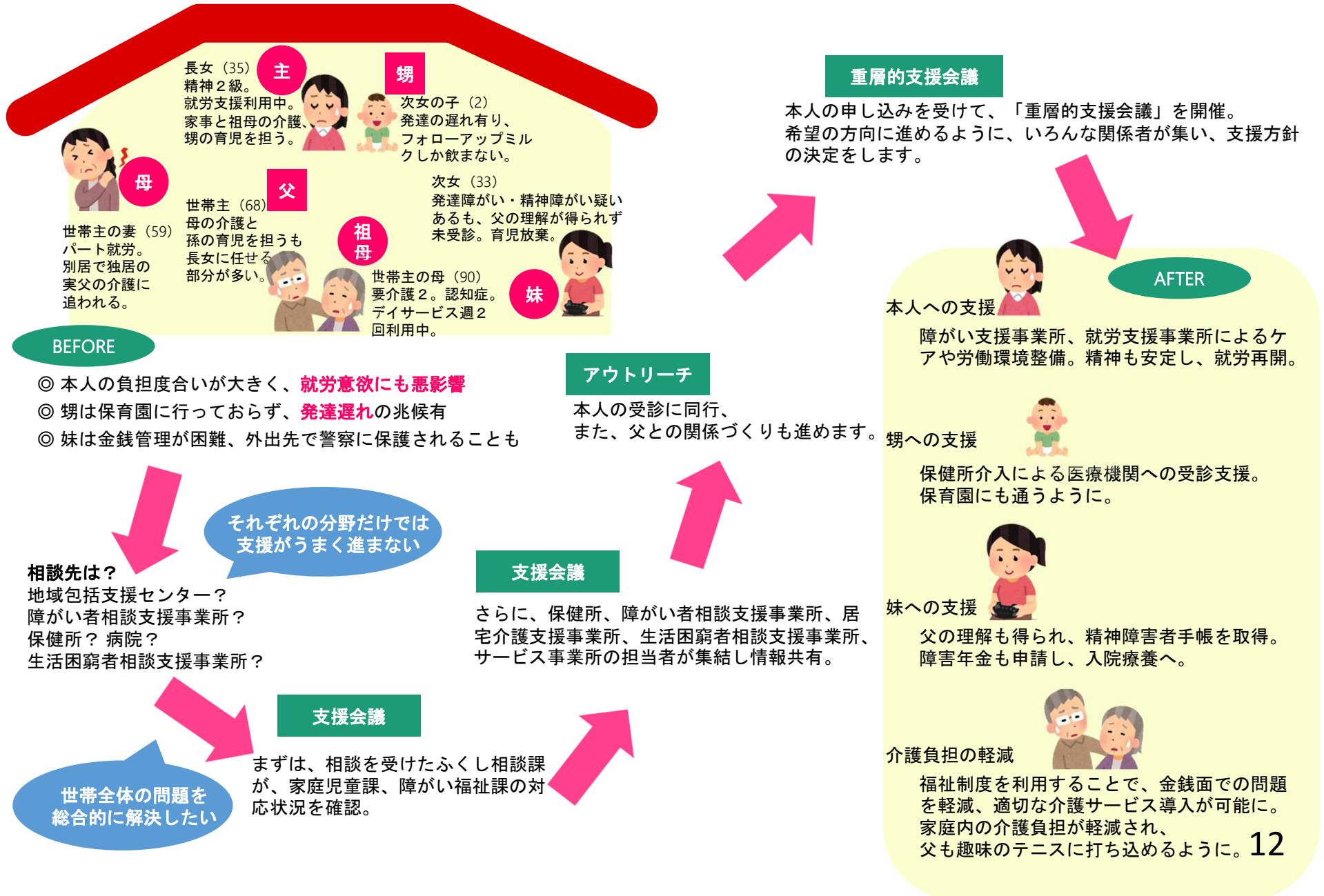
メンバー：上記 + 支援機関、支援関係者



多機関協働事業の実績（令和３年度）

ステイタス	件数
情報提供や相談対応のみで終了	15
他の制度や専門機関での対応が可能であり、つなぐ	16
現時点では本人同意はとれていないが、引き続き同意に向けて取り組む	4
多機関協働プランを策定する	33
スクリーニング判断前に中断・終了	2
合計	70
プラン作成件数のうち終結した件数	10

重層的な支援の流れ



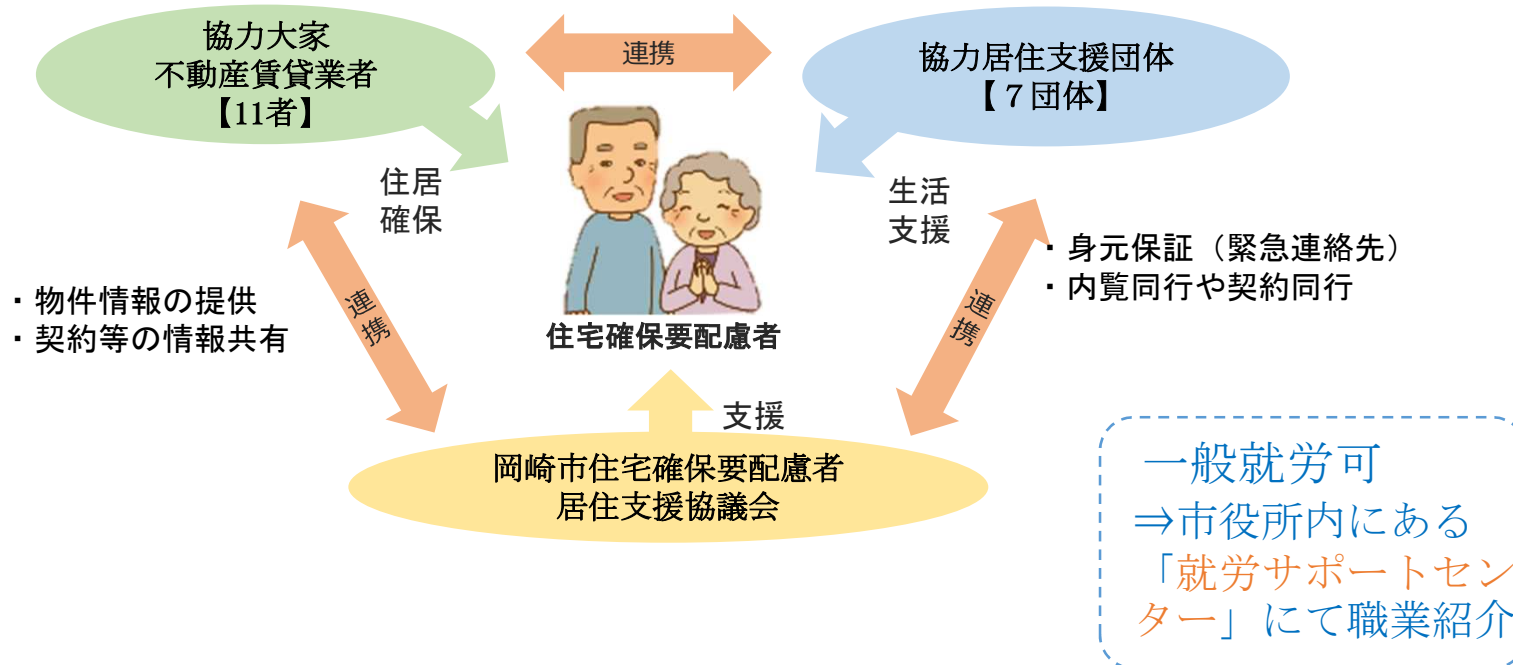
住まいサポートおかざき①

【本市における新たな住宅セーフティネット制度のみでは進まない課題】

- ①相談者の約7割が低額所得者であることから、低廉な家賃の住宅の確保が必要である。
- ②登録住宅の空き住戸は総じて少なく、相談者の希望条件に応じた物件情報を提供することが困難な状況にある。
- ③大家等の不安が住宅困窮理由の場合、必要な支援がなくては住宅の確保につながらない。

「住まいサポートおかざき」を施行（R3.10.1）

上述の課題を解消するため、民間賃貸住宅の賃貸等を実施する事業者及び民間賃貸住宅等への居住支援を行う団体と連携することで、従来より住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への円滑な入居の促進及び居住の安定を図ることを目的とした制度を施行。



住まいサポートおかざき②

【相談対応の実施状況】

2022.3.31時点

年度	相談件数	マッチング件数	入居につながった件数
令和元年度	38件	18件	1件
令和2年度	57件	23件	5件
令和3年度	71件 (支援対応中: 4件除く)	30件	9件 ※
合計	166件	71件	15件

相談元	件数
本人・家族	8
ふくし相談課	28
地域包括支援センター	10
福祉部局等 (ふくし相談課以外)	12
家庭児童課	3
多様性社会推進課	1
市営住宅管理センター	5
その他	4
計	71

属性	件数
高齢者	25
身体障がい者	10
精神障がい者	6
子育て世帯	5
外国人	2
D V被害者	5
更生保護対象者	3
被災者	1
低額所得者	13
その他	1
計	71
複数属性の低額所得者 (上記、低額所得者と合算)	53

対応状況	件数
宅建協会の紹介物件に入居	1※
住まいサポートおかざきを介し入居	4※
公営住宅に入居	4※
宅建協会による物件情報の提供	1
住まいサポートおかざきによる物件情報の提供	2
住まいサポートおかざきによる居住支援の紹介	2
公営住宅の情報提供	17
サービス付き高齢者向け住宅の情報提供	1
福祉部局等と連携し、福祉施設へ入所	2
福祉部局・団体に対応引継ぎ	19
制度紹介のみ	11
その他	7
計	71
支援対応中(次年度実績に反映)	4

家が見つかってても
...引越費用がない

市営住宅当選しても
...ゴミの片付できない

▶ アウトリーチ・参加支援事業者も対応

「子ども・若者総合センター」 リニューアルオープン

現若者サポートセンターの課題

- ・ 専門相談の予約枠不足
- ・ 対象は15歳から
- ・ 不登校・ひきこもりへの支援の長期化
- ・ ニーズ増加への対応



10月～



ニート、ひきこもり、不登校、ヤングケアラー等

「子ども・若者総合相談センター」へ

- ・ 相談員を増員し、専門相談を開所
日全日で実施
- ・ 15歳未満の子ども対象
- ・ 少年愛護センターと統合
- ・ メールやLINEを活用した相談受付
- ・ アウトリーチによる相談
- ・ 就労のための初期支援

連携

教育委員会所管

15・18歳の制度の壁を超える

就労準備支援事業と...

日常生活自立及び社会生活自立に関する支援を連携

多機関協働事業と...

岡崎市子ども・若者支援地域協議会、支援会議などで情報連携

参加支援事業、アウトリーチ事業と...

伴走型の支援、家族を含めた支援

岡崎市子ども・若者支援地域協議会にも参画

つながりのある食料等支援

新OKフードドライブ

毎月市内のどこかでフードドライブ

- ・老舗の味噌屋
- ・葬儀場
- ・ディサービス e t c



事業としての食料支援 = 就労体験 + 社会参加支援

特別支援学校が実施主体

- ・卒業後は農業分野への就業も。農業を行うB型事業所が増加傾向。
- ・一般就労が困難な方の就労体験の場。

生徒...職業訓練

農家（複数）...農業技術指導、種・苗などを提供

JAあいち三河...農家へ情報発信、女性部に働きかけ

地域住民...活動に参加、生徒との交流

社会福祉協議会...参加支援事業、地域づくり

地域包括支援センター...地域住民に周知、地域づくり

愛知県青年の家...場所の提供

愛知県農業経営課...助言

岡崎市農務課...助言、情報発信

ふくし相談課...情報発信、地域づくり



個別避難計画は地域づくり

令和3年5月災害対策基本法改正⇒個別避難計画作成が市町村の努力義務化

内閣府：令和4年度個別避難計画作成モデル事業

～「犠牲者ゼロ」は地域力から

POINT1

・既存の会議体の活用

福祉分野には、「学区福祉委員会」「地域ケア会議」「協議体」「支援会議」といった、既存の会議体が設置されており、地域住民や福祉・医療専門職などの、避難支援等実施者となりうるステークホルダーが既に参加しているため、既存の会議体を効率的に活用し、計画作成を進める。

POINT2

・二段構えの作成

令和4年度は、①モデル地区に応募した自治会と協働して、優先度の高い要支援者の計画作成を進めるとともに、②「肢体不自由児・者父母の会」に入会している、約100名の要支援者やその家族と、計画作成を進めることとしている。

POINT3

・平時の見守りの強化

避難行動要支援者名簿に登録した方に対して、従前から「見守りキーホルダー」を配布しているが、計画作成を進める中で、潜在的に問題を抱えているにも関わらず、相談できる相手がいない方や、地域から孤立している方の、繋がり創出を行う。

寄付の活用

お米

▶ 子ども食堂・フードドライブ・困窮者支援 など

生理用品

▶ 小・中・高・大学に配布
公共施設で配布 など

寄付金

▶ 終活事業 など

食料品

▶ 子ども食堂・フードドライブ・困窮者支援 など

防災備蓄

▶ 子ども食堂・フードドライブ・困窮者支援 など

絵本

▶ 子ども食堂・児童養護施設・保育所 など

<現在交渉中>

車

▶ 中山間地域の移動支援
に活用予定

寄付金

▶ ヤングケアラー支援

人生最後の社会貢献
遺贈寄付を
後押しします。

遺贈（いぞう）とは、
特定の個人や団体に遺言書で財産を遺すことです。
「残った財産で社会への恩返しをしたい」
「未来を背負っていく人達に何か遺したい」との思いから、
遺贈による社会貢献団体へのご寄付を考える方が増えています。
私たちは、あなたの「思い」を未来の笑顔につなぐお手伝いをしています。

詳しくは
裏面をご覧ください

I♥OKAZAKI 岡崎市 × 名古屋銀行

遺言代用信託

ニーズが増大する日常生活自立支援事業
の緩和に期待

絶賛!!営業中



企業版ふるさと納税

- ◆志を可能な限り受止める
- ◆大人用おむつ・尿漏れパット
石灰
生理用品
マスキングテープ
社名変更で配れなくなったタオル
... etc

もったいないをありがとう
社会貢献型防災備蓄

期限が近くなったら
非常用 備蓄食品
もしものときは...
従業員の非常食

配布会場
or
子ども食堂

困っている人のもとへ

フードドライブ
使えきれない未使用食料品や寄付品を持ち寄り、
食糧支援必要とする方に寄付する活動

メリット
①食品を無駄にせず、備蓄できる
②困っている方の役に立ち、社会貢献活動になる

期限が迫った備蓄品。
処分に困る前にフードドライブしませんか？

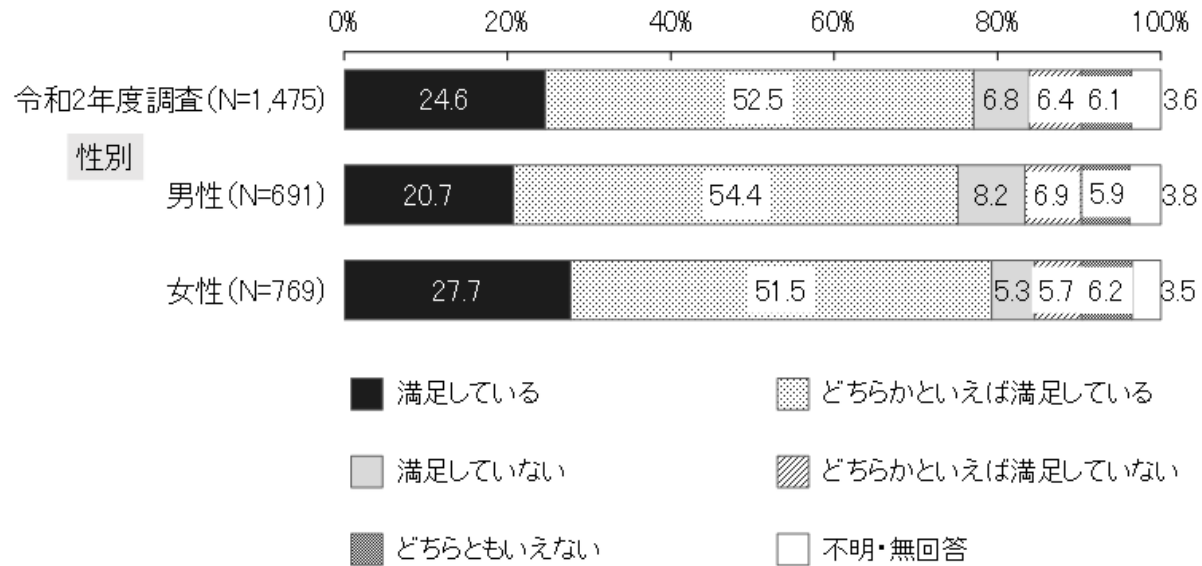
◆お問合せ
岡崎市 福祉部 ふくし相談課 つながり支援係
住所：岡崎市十王町2丁目9番地（福祉会館1階）
Tel：0564-23-6774

OK
フードドライブ

総計予算主義の壁 ⇒ 迅速な支援につなげたい

問：あなたは、今の生活に満足していますか。

令和2年度地域福祉に関する市民意識調査



問：将来あなたが人生の最期を迎える時、それをどこで迎えたいですか。

令和元年度介護保険等実態調査

